

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【公開番号】特開2015-116222(P2015-116222A)

【公開日】平成27年6月25日(2015.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2015-041

【出願番号】特願2013-259607(P2013-259607)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月28日(2015.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な始動口と、

識別情報を変動表示及び停止表示可能な識別情報表示部と、

情報を出力可能な情報出力部と、

遊技の進行を制御する主遊技部と、

情報出力部への情報出力を制御する副遊技部と

を備え、

主遊技部は、

始動口への入球に基づき乱数を取得する乱数取得手段と、

乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して、保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と

、ある保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該ある保留に係る前記乱数に基づく当否判定結果に従い、識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に停止識別情報を停止表示するよう制御する識別情報表示制御手段と、

前記当否判定結果が当選であった場合、識別情報表示部にて停止識別情報が停止表示された後、遊技者にとって有利な特別遊技を実行し得る特別遊技制御手段と

を備え、

保留が新たに生起した場合には、第一情報を副遊技部へ送信可能に構成されており、

副遊技部は、

主遊技部から送信された第一情報に基づき、特別遊技の実行可能性を事前に示唆又は報知する保留先読み情報を、情報出力部にて出力可能に構成されており、

識別情報の変動表示に係る態様として複数種類の変動表示態様を有し、識別情報の変動表示開始条件を充足した場合には、当該複数種類の変動表示態様における何れかの種類の変動表示態様に基づき識別情報を変動表示させるよう構成されており、

ある保留に係る前記乱数に基づき前記複数種類の変動表示態様のうちの予め定められた特定の種類の変動表示態様を探ることが予定されている場合、当該ある保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した際には、当該ある保留に関する識別情報の変動表示開

始条件を充足した時点で残存している保留個数に拘わらず、当該予め定められた特定の種類の変動表示態様に基づき識別情報を変動表示させることが確定的となるよう構成されており、

前記予め定められた特定の種類の変動表示態様に基づき識別情報を変動表示させる場合であって、識別情報の変動表示開始後にて所定時間分の演出が情報出力部にて実行された後から当該識別情報の変動表示が停止表示されるまでの期間中における特定のタイミングに到達した場合には、当該特定のタイミングに到達した時点にて残存する何れかの保留を対象として保留先読み情報の出力を決定し得るよう構成されており、

ある保留が新たに生起したタイミングにおいても、当該ある保留を対象として保留先読み情報の出力を決定し得るよう構成されていることを特徴とするぱちんこ遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本態様に係るぱちんこ遊技機は、
遊技球が入球可能な始動口と、
識別情報を変動表示及び停止表示可能な識別情報表示部と、
情報を出力可能な情報出力部と、
遊技の進行を制御する主遊技部と、
情報出力部への情報出力を制御する副遊技部と
を備え、

主遊技部は、
始動口への入球に基づき乱数を取得する乱数取得手段と、
乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して、保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と、

ある保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該ある保留に係る前記乱数に基づく当否判定結果に従い、識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に停止識別情報を停止表示するよう制御する識別情報表示制御手段と、

前記当否判定結果が当選であった場合、識別情報表示部にて停止識別情報が停止表示された後、遊技者にとって有利な特別遊技を実行し得る特別遊技制御手段と
を備え、

保留が新たに生起した場合には、第一情報を副遊技部へ送信可能に構成されており、
副遊技部は、

主遊技部から送信された第一情報に基づき、特別遊技の実行可能性を事前に示唆又は報知する保留先読み情報を、情報出力部にて出力可能に構成されており、

識別情報の変動表示に係る態様として複数種類の変動表示態様を有し、識別情報の変動表示開始条件を充足した場合には、当該複数種類の変動表示態様における何れかの種類の変動表示態様に基づき識別情報を変動表示させるよう構成されており、

ある保留に係る前記乱数に基づき前記複数種類の変動表示態様のうちの予め定められた特定の種類の変動表示態様を探ることが予定されている場合、当該ある保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した際には、当該ある保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した時点で残存している保留個数に拘わらず、当該予め定められた特定の種類の変動表示態様に基づき識別情報を変動表示させることが確定的となるよう構成されており、

前記予め定められた特定の種類の変動表示態様に基づき識別情報を変動表示させる場合であって、識別情報の変動表示開始後にて所定時間分の演出が情報出力部にて実行された

後から当該識別情報の変動表示が停止表示されるまでの期間中における特定のタイミングに到達した場合には、当該特定のタイミングに到達した時点にて残存する何れかの保留を対象として保留先読み情報の出力を決定し得るよう構成されており、

ある保留が新たに生起したタイミングにおいても、当該ある保留を対象として保留先読み情報の出力を決定し得るよう構成されていることを特徴とするぱちんこ遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係るぱちんこ遊技機は、

遊技球が入球可能な始動口（例えば、第1主遊技始動口A10、第2主遊技始動口B10）と、

識別情報を変動表示及び停止表示可能な識別情報表示部（例えば、第1主遊技図柄表示部A21g、第2主遊技図柄表示部B21g）と、

情報を出力可能な情報出力部（例えば、演出表示装置SG）と、

遊技の進行を制御する主遊技部（例えば、主制御基板M）と、

情報出力部（例えば、演出表示装置SG）への情報出力を制御する副遊技部（例えば、副制御基板S）と

を備え、

主遊技部（例えば、主制御基板M）は、

始動口（例えば、第1主遊技始動口A10、第2主遊技始動口B10）への入球に基づき乱数を取得する乱数取得手段（例えば、乱数取得判定実行手段MJ20）と、

乱数取得手段（例えば、乱数取得判定実行手段MJ20）により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して、保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段（例えば、図柄保留手段MJ32）と、

ある保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該ある保留を消化して、当該ある保留に係る前記乱数に基づく当否判定結果に従い、識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に停止識別情報を停止表示するよう制御する識別情報表示制御手段（例えば、遊技内容決定手段MN、遊技進行手段MP）と、

識別情報表示部（例えば、第1主遊技図柄表示部A21g、第2主遊技図柄表示部B21g）に停止表示された停止識別情報が所定態様であった場合、遊技者にとって有利な特別遊技を実行し得る特別遊技制御手段（例えば、特別遊技制御手段MP30）とを備え、

ある保留が新たに生起した場合には、保留が新たに生起した旨の情報を副遊技部（例えば、副制御基板S）へ送信可能であり、ある保留を消化した場合には、保留が消化された旨の情報を副遊技部（例えば、副制御基板S）へ送信可能に構成されており、

副遊技部（例えば、副制御基板S）は、

主遊技部（例えば、主制御基板M）から送信された前記情報を基づき、ある保留の消化時における特別遊技の実行可能性を事前に示唆又は報知する保留先読み情報を、情報出力部（例えば、演出表示装置SG）にて出力可能に構成されており、

識別情報の変動表示に係る態様として複数種類の変動表示態様を有し、識別情報の変動表示開始条件を充足した場合には、当該複数種類の変動表示態様における何れかの種類の変動表示態様に基づき識別情報を変動表示させるよう構成されており、

予め定められた特定の種類の変動表示態様に基づき識別情報を変動表示させる場合であって、当該変動表示の期間中において予め定められた特定のタイミングに到達した場合には、当該特定のタイミングに到達した時点にて残存する何れかの保留を対象として保留先読み情報の出力を許可し得るよう構成されており、

保留先読み情報の出力を許可する対象となる保留である特定保留を決定するに際しては、消化順番が最先となる保留から消化順番に従って各保留の消化時における特別遊技の実行可能性を事前判定し、当該事前判定の結果が所定の結果となる保留を特定保留と決定す

ると共に、当該決定した特定保留よりも消化順番が後となる保留が残存している場合であっても、当該残存している保留に関しては当該事前判定を行わないよう構成されており、

前記特定の種類の変動表示態様に基づく識別情報の変動表示が開始された際には、当該開始されたタイミングにて、当該特定の種類の変動表示態様及び停止表示予定である停止識別情報と対応する変動表示演出の実行を開始するよう構成されており、前記特定のタイミングに到達した際に、保留先読み情報の出力が許可された場合と、保留先読み情報の出力が許可されなかった場合とでは、前記特定のタイミングに到達した以降において実行される変動表示演出の実行内容が異なるよう構成されていることを特徴とするぱちんこ遊技機である。